

メドテック・ チャイナ視察報告



8 月25日(火)～26日(水)の2日間にかけて中国の上海虹橋地区で開催された医療機器・部材・要素技術の総合展示会であるメドテック・チャイナの視察に行っていました。

当センターが中核機関として取り組んでいる地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型)テーマ名:「『いわて発』高付加価値コバルト合金によるイノベーションクラスターの形成」において、海外マーケットの開拓、技術の海外への情報発信による技術シーズのグローバル展開を促進することを目的とし、今後拡大が見込まれるアジア市場の中でも特に成長著しい中国市場への展開を図っていくため、上海で開催される本展示会を視察し、情報収集を行ったものです。

会期中の来場者は約5,000名と、日本で開催されているメドテック・ジャパン(於:パシフィコ横浜/3日間で約6,500名)と同等以上の盛況ぶりを呈しており、成長し続ける中国市場を象徴しているかのように、盛んに商談や意見交換が交わされておりました。

当センターでは、今後、このような海外展示会等の情報収集を重ねるとともに、関連事業でもあります「いわて医療機器事業化研究会」との連携体制を模索しながら、積極的な海外への情報発信と参画企業様の販路開拓の支援を行っていきたくと考えております。

いわて医療機器 事業化研究会

い わて産業振興センターでは、去る8月27日(金)に、盛岡市のホテル・ルイズを会場として今年度2回目の「いわて医療機器事業化研究会」を開催しました。19社、8機関、42名に参加いただきました。

今回の研究会は、東北経済産業局が今後の展開として考えている青森・秋田・岩手の北東北3県の医療機器研究会の連携活動を視野に入れ、弘前大学大学院理工学研究科教授の牧野先生より、「医用システム開発マイスター養成塾と医工連携について」と題し、養成塾の発足経緯から取り組みについてご講演いただきました。医用システム開発マイスター養成塾では、精密機器の設計・製造

を担う地域の技術者を対象に、研究開発を先導できる人材の育成を体系的に行っているとのこと。

また、青森県商工労働観光部新産業創造課の村下主幹、(財)21あおり産業総合支援センター横内地域連携マネージャーより「あおりウェルネスランド構想～医療・健康福祉関連産業の創出・育成活動について～」と題し、青森臨床工学技士会と連携した医療現場の周辺機器等の具体的な改善活動等を中心に、青森県の産学官連携による医療機器関連産業への参入支援の活動をご紹介いただきました。

今後のいわて医療機器事業化研究会は、青森の活動を範とし、人材育成プログラムの作成やニーズ掘り起こし・医療関係者との接触機会提供の創出に努めてまいります。また、北東北において医療機器産業が主要産業の1つとなるべく、青森、秋田、岩手の連携を強化していきたいと考えております。



いわて医療機器事業化研究会 事務局
財団法人いわて産業振興センター
育成支援グループ 担当/福島
TEL/019-631-3822 FAX/019-631-3830
E-mail/joho@joho-iwate.or.jp

研究会の活動等の詳細は、次のホームページをご覧ください。

URL/<http://www.joho-iwate.or.jp/area/kentan/kentan.htm>

【会員企業数(平成22年8月末現在)】

- 正会員(県内ものづくり企業)80社
- 特別会員(大学、行政、支援機関等)15機関

●共立医科器械(株)

【研究会協同代表(3社)】

●(株)東光舎

●谷村電機精機(株)

「いわて医療機器研究会」では、ご入会くださる会員の方を幅広く募集しています。ご興味のある方は事務局までご連絡ください。